

心配ごと相談所の開設について

開設日時：令和3年12月7日（火）

午前9時30分～11時30分

開設場所：湯浅町地域福祉センター

当相談所の規定に基づき秘密は厳守します。相談費用は無料です。

事前予約は11月8日（月）からの受付となります。

お申し込み・お問い合わせは湯浅町社会福祉協議会までお願いいたします。

心配ごと相談とは・・・

湯浅町社会福祉協議会から委嘱を受けた「心配ごと相談員」のみなさんが日常生活における相談をお受けします。

相談内容によって、各関係機関と連携しながら問題解決に努めます。

今後の予定

11月10日（水）：あいうえおサロン（地域福祉センター）

11日（木）：紀の国いきいき健康長寿祭GB大会（御坊市）

14日（日）：一人親家庭ふれあい交流事業（紀南方面）

25日（木）：紀の国いきいき健康長寿祭GG大会（日高川町）

26日（金）：老人大学（総合センター）

28日（日）：しらゆりキッチン（地域福祉センター）

12月 7日（火）：心配ごと相談（地域福祉センター）

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、上記予定が中止になることがあります。

編集・発行：湯浅町社会福祉協議会

〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町湯浅1675-1

TEL：0737-63-5175 FAX：0737-63-3304

WEB：http://www.yuasa-shakyo.or.jp/

homepage



Facebook



老人福祉作文表彰式



10月12日（火）、「敬老の日に伴う老人福祉作文事業」において特選に入賞された方々に対する表彰式を役場なぎホールで執り行いました。

当日は、竹島会長より子どもたち全員に表彰状を授与頂き、ご来賓の皆様からはお祝いの一言を添えて副賞を授与頂きました。

今年度も高齢者とのふれあいや交流をテーマに598点もの心とむ作品が寄せられましたことに、改めて御礼申し上げます。



まちにんちしょう 町のみんなが認知症サポーター！！



れいわ ねん がつげんざい ゆ あさちよう めい かたがた にんちしょう ようせいこうざ
令和3年10月現在、湯浅町では、1,542名の方々が「認知症サポーター養成講座」を
じゅこう
受講されています。

こんかい にんちしょう ようせいこうざ じゅこう かたがた じゅこうご と く おも
今回、認知症サポーター養成講座を受講された方々に、「受講後の取り組みや思いについて」
はなし うかが
お話を伺いました。

●相手の方が何を望んでいるのかを考えるように…。

ち いき こうれいしや かた ちゆうしん み まも かつどう
地域で高齢者の方を中心に見守り活動していますが、
か くわ こじんじようほう ほ ごせいど じようほう はい
コロナ禍に加え、個人情報保護制度などにより情報が入ら
なかつたり、地域との関わりが難しくなっています。
にんちしょう かた かぞく かた とうじしや
認知症の方やその家族の方は、当事者でないとわからない
ことが多々ありますが、これからも信頼を得られるきっかけを
み つけながら見守り活動を行っていきたいと思います。



みんせいじ どうい いんきようき かい
民生児童委員協議会
かいちよう か がようじ
会長 加賀洋二さん

●認知症状を理解をした上での対応を大切に…。

い ぜん じ ぶん がたにんちしょう い
以前、「自分はアルツハイマー型認知症です。」と言って
らいかん かた じゅこう
来館された方がいたことをきっかけに受講しました。
にんちしょう し いしき たいおう
認知症を知ること、意識しながら対応できるようになりました。



としよかんしよくいん おおき うえだ
図書館職員 大木さん・上田さん

ち いきほうかつ しえん
地域包括支援センターと
にんちしょうかんけいしよせき
コラボで「認知症関係書籍の
とくせつ せつち
特設コーナー」を設置♪



とくせつ がつまつしゆうりよう
*特設コーナーは9月末終了。

●支えあいの町づくりをめざして…。

き がる はい としよかん にんちしょう
気軽に入れる図書館で、認知症の
ことを調べたりするための拠点と
しての役割を目指しています。



ち いきほうかつ しえん やまもとともゆき
地域包括支援センター山本智之さん

にんちしょう ようせいこうざ にん
認知症サポーター養成講座は、3～5人からの
しょうにんずう じゅこうかのう
少人数でも受講可能です。

もう こ ゆ あさちよう ち いきほうかつ しえん
お申し込みは、湯浅町地域包括支援センターまで♪

でんわ ばんごう
電話番号：64-1120

地域で生活する「認知症の方」とともに…



● 気づき・相談

近所の商店の方から、地区の民生委員に
「●●さん、何回も店に来て、同じ物を
買っていくんよ～」という相談がありました。



● 地域包括支援センターに相談

地域包括支援センターから、家族に
連絡を取り、介護保険サービス利用
申請と医療機関の受診につながり
ました。

● 地域住民が協力して見守り

商店や近隣の方々が協力し、見守りや
安否確認の声を続けました。
そのなかで、「本人の尊厳を大切に
する」ことを心がけました。

● 認知症サポーター養成講座の開催

見守り活動のなかで、近隣の方に「認知症サポーター
養成講座」の受講を呼びかけました。
なかには、「自分の夫が心配で・・・」「自身が高齢に
なってきたので心配。」という方も集まり、みんなで
認知症について理解を深めました。



地域包括支援センター
中井弓さん・萩瞳さん

● あたたかい支援の輪が広がることを願って…。

本人が介護認定を受けてからは、ケアマネさんやヘルパーさん
なども関わり、その方を取り巻く支援の輪も広がりました。
いま、コロナ禍により外出機会が減少し、地区の方の様子も
わかりづらくなっています。しかし、こんな時だからこそ、
見守りや声かけ活動を大切にしていきたいと思います。



民生委員 法眼貞子さん

「認知症の方が安心して暮らせるまち」＝「まちのみんなが認知症サポーター」を目指して！

シーカヤック体験！！in 栖原海岸

10月10日（日）、会員のみなさんの親睦と交流を目的に「シーカヤック親子体験教室」が開催されました。

体験されたみなさんは、青く澄んだ海や自然を見ながら元気いっぱいオールを漕ぎ、楽しそうに過ごされていました。

体験後は、役員さんお手製のカレーでお腹も心も満たされ、思い出に残る一日となりました。

なお、本事業は「すはらシーサイドハウス」さんのご招待により実施させて頂きました。



『母子福祉連合会』では、随時会員を募集しています。町内在住の一人親家庭のみなさん
会活動に参加してみませんか？

お申し込み・お問い合わせは・・・

湯浅町役場福祉課 64-1120

湯浅町社会福祉協議会 63-5175